

**製品名:** リン酸化 AMPK $\alpha$ 1 (Thr183) /AMPK $\alpha$ 2 (Thr172) ウサギモノクローナル抗体  
**カタログ番号:** AMRe87121

研究使用のみ

## 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	Calculated MW:64,62 kDa; Observed MW:62 kDa

## 抗原情報

遺伝子名	Phospho-AMPK alpha 1 (Thr183)/AMPK alpha 2
別名	AMPK; AMPKa1
遺伝子 ID	5562
SwissProt ID	P54646
免疫原	ヒト AMPK $\alpha$ 1/AMPK $\alpha$ 2 の Thr183/Thr172 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

## 背景

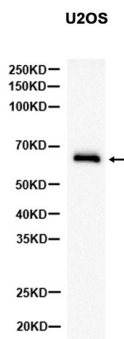
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ser/thr タンパク質キナーゼファミリーに属し、5'-プライム AMP 活性化タンパク質

キナーゼ (AMPK) の触媒サブユニットです。AMPKは、すべての真核細胞に保存されている細胞エネルギーセンサーです。AMPKのキナーゼ活性は、細胞内のAMP/ATP比を上昇させる刺激によって活性化されます。AMPKはリン酸化を介して、いくつかの主要な代謝酵素の活性を制御します。ATPを消費する生合成経路を遮断することで、ATP枯渇を引き起こすストレスから細胞を保護します。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。[RefSeq提供、2008年7月]

## 研究分野

-

## 画像データ



リン酸化 AMPK アルファ 1 (Thr183) /AMPK アルファ 2 (Thr172) ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した U2OS 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。